



## パウロ書院 図書紹介



2018年11月

### ■「今ここに」 / 「十五歳の巡礼」を歩き終えたら 後藤文雄 著

人生の中で後藤神父さんのような「スケールの大きい人物」に出会う機会は滅多にありません。

殻に閉じこもって安定しようとする内向きな今の時代に、「外に目を向けてチャレンジしろ」と、ご自分の人生全体をもって私たちを鼓舞しつづけておられます。本当の「大物神父」に、本書で是非とも出会ってください。



### ■「わたしの信仰」 キリスト者として行動する

アンゲラ・メルケル フォルカー・レージング編 松永美穂訳

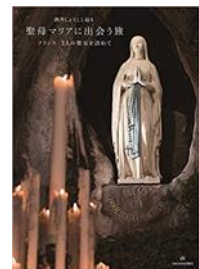
東独で牧師の娘として成育、統一後は少壮政治家として頭角を現し、2005年以来ドイツ首相を12年以上務めているアンゲラ・メルケル。福島原発事故後に原発からの撤退を決断し、また難民危機に際して積極的な受け入れを指示するなど、その政策は現代世界に大きな影響を及ぼしている。本書は、彼女が教会関係の集会などで語った講演やインタビューなど16編を収録。その信仰観、社会観、人生観を余すことなく伝える注目の書。



### ■酒井しょうこと辿る 聖母マリアに出会う旅 酒井しょうこ著

フランス3人の聖女を訪ねて 祈りのなかで聖母マリアに出会った3人の聖女たち

彼女たちの足跡を辿る、フランス巡礼へのいざない聖女の生涯とゆかりの土地を、美しい写真とともに紹介、世界有数の巡礼地ルルドをはじめ、パリ、ヌヴェール、リジューを網羅した一冊。



### ■主は「たとえ」で語られた 澤田豊成 著

イエスは「多くの喩えをもって、み言葉を語られ、喩えなしには語られなかった。」

イエスは神の国の神秘、神のなさり方を語られるとき必ずと言ってよいほど「たとえ」で語られた。なぜイエスは「たとえ」を用いられたのか。本書は「たとえ」話の解説を通し、イエスの思いに迫る。



### ■使徒的勧告 喜びに喜べ

教皇フランシスコ カトリック中央協議会

あなたの洗礼の恵みを、聖性の歩みの上に実らせなさい。すべてを神に向けて開いておきなさい。そのためにただひたすらに神を選びなさい。



- しあわせなろばのメシヤク リンダ・M・ネルソン 作 中村妙子 訳 岩淵慶造 画  
心に明かりを灯しつづけるには……？ 小さなろばとイエスさまの友情物語。  
小学生から大人まで。



- 修道院からの贈り物 クリスマスを楽しむ 女子パウロ会編  
クリスマスは、救い主イエス・キリストの降誕を祝う日です。この日のために、修道院のシスターたちが心を込めて手造りした料理やお菓子、ツリーや、リース、オーナメントの数々、また、この日にちなんだ思い出を語るほのぼのとしたお話を集めました。どうぞ楽しいクリスマスをお過しくださいますように。

■世界のクリスマス伝説 大久保エマ 訳 三木節子 絵



- 毎年、12月24日には、世界中でクリスマスをいわれます  
クリスマスってどんな日か知っていますか？ そう、イエス・キリストの誕生日を記念するお祭りです。キリストの生涯とことばとは聖書に書いてあります。誕生日はいまからおよそ2千年前のことでした。  
ユダヤの国(いまのイスラエル)では、むかしむかしから、いつか、天の神様が、すくいぬしキリストをこの世につかわして下さる、という言い伝えがありました……。

